

岩高短歌  
『ワタシタチノウタ』  
月間優秀賞作品 R5⑤

発行者  
岩出山高校  
国語科

〔九月〕黄色・氷・空・制服

月間賞

もくもくと入道雲が広がってまだまだ夏は終わりを告げない

第二席

制服で飛び込みたいと訴えてプールサイド流す青と夏

第三席

夕方のチャイムと共に沈みゆく夏の終わりを照らす太陽  
いつまでも着ていたかった制服が半年後にはスーツに変わる  
夏の日々水筒の中でカラコロとなってる音が心地よい  
かき氷夏と一緒に溶けてゆく寒さ感じる秋の始まり  
秋風が呼んでくるのは羊雲メーと鳴いては楽しく走る

優良賞

炎天下くらくらゆるる暑さかなガコンという音冷え麦茶から  
気にくわなないあなたの態度そっけなくそれはまるで冷たい氷  
残暑にも軽快な音楽でつつ透き通る白熱冷ましてく  
この季節変わり始める制服がかえるものも変えないものも  
明るさも暑さとともに連れ去った刺さる言葉は氷のよう  
飲み物と一緒に溶けていく暑さに勝てずなくなる氷  
木葉たち黄色の制服身に纏い一足早い衣替え